

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

企業理念である「日本の養豚を、もっと魅力的に」をモットーに、社員一人ひとりの潜在能力を伸ばし、労働生産性の高い養豚経営を目指します。また、地域を牽引する企業を目指すとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境	～資料要求率最良化への取り組み～ ・豚の体重増加の効率化	項目	FCR(飼料要求率)の低下
☑ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
□ 経済		2.90	2.88
□ 環境	～中山間地域における産業の確立～ ・雇用拡大、次世代への承継による地域農業の持続的な発展	項目	地元雇用人数の増加
☑ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
□ 経済		10人	13人
□ 環境	～効率的な養豚経営～ ・業務効率化によるDXの推進	項目	生産管理の電子化
□ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
☑ 経済		試験中	実装

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。**

<パートナーシップ>

当社は、中山間地域における産業の確立により、業界団体、自治体、金融機関、地域住民とのパートナーシップを大切にしながら、更なる地域の発展、持続可能な社会の実現へ貢献します。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境	～資料要求率最良化への取り組み～ ・豚の体重増加の効率化	・FCR(飼料要求率)3.0以下※ ※豚の効率的な生産を表す指標。値が小さいほど、少ない飼料で効率的に生産できていることを示す。
☑ 社会		
□ 経済		
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、 未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	出荷コントロールや飼料の飼料の給餌方法を変更することで目標を達成することができた。	FCR3.0→FCR2.9
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境	～中山間地域における産業の確立～ ・雇用拡大、次世代への承継による地域農業の持続的な発展	・現在、地元雇用5人→7人
☑ 社会		
□ 経済		
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、 未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	地元Uターン者などを雇用することができ、達成することができた。	地元雇用 10人
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境	～効率的な養豚経営～ ・業務効率化によるDXの推進	・生産管理の電子化
□ 社会		
☑ 経済		
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、 未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	Wi-Fi設備の導入に遅れが生じたため、試験にとどまっている。(オートソーターの記録電子化)	試験中

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。
※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。